

12月定例会・議案など	2
12月定例会・一般質問	3～7
議案等に対する各議員の賛否状況	6～7
議員の一般行政視察など	8
委員会等活動報告	8

令和5年10月6日から令和6年1月10日までの出来事を掲載しました。



タイトル：冬の西濠
 撮影者：全日本写真連盟弘前さくら支部
 成田 敏さん

表紙写真について、令和5年7月11日から令和6年1月10日までの期間で、3名の方から4点の写真のご応募がありました。ご応募いただきありがとうございます。表紙写真募集の次回の締切は令和6年7月10日(水)です。

議 会 ト ピ ッ ク ス

議会改革特別委員会が活動を開始

弘前市議会は、令和5年第4回定例会最終日の12月19日(火)、全議員の総意として、新たに「議会改革特別委員会」を設置しました。

議員一人一人が市民の皆様の立場に立ち、自ら課題を見つけて議論し、議会をよりよいものにするために、本委員会では議会改革に関する調査研究を行うこととしています。

市政の発展と市民福祉のさらなる向上のため、議会の活性化に向けた議論を進めていきます。

<委員構成> (定数10名)

- | | |
|--------|--------|
| ◎工藤 光志 | ○松橋 武史 |
| 工藤 賢生 | 竹内 博之 |
| 成田 大介 | 石山 敬 |
| 千葉 浩規 | 外崎 勝康 |
| 蒔苗 博英 | 佐藤 哲 |

※敬称略。

◎は委員長、○は副委員長。

委員は議席番号順に記載。



組織会の様子

高齢者福祉の充実に関する 要望書を櫻田市長へ提出



要望書の提出後、櫻田市長（写真中央）と懇談を行いました

12月19日(火)の本会議後、尾崎 寿一議長、工藤 光志副議長、各会派の代表者（蒔苗 博英議員、三上 秋雄議員、竹内 博之議員、千葉浩規議員）の6名が、櫻田 宏市長へ高齢者福祉の充実に関する要望書を提出しました。

「健康都市弘前」の実現を目指す本市では高齢者福祉の充実喫緊の課題であり、高齢者の居場所づくりを進めるとともに、加齢性難聴者への補聴器購入の支援など、高齢者が自立した生活を送れる施策を強化し、高齢者福祉を充実させるよう、市に要望しました。

令和5年第4回定例会

【会期：令和5年11月24日(金)～12月19日(火)】

市長提出議案 79件

12月補正後の令和5年度予算

一般会計 894億3244万6千円
 (12月補正額 57億6044万1千円)
 特別会計 433億1815万6千円
 (12月補正額 3億6741万2千円)

●令和5年度弘前市一般会計補正予算(第7号)

物価高騰の影響を受けている市民生活への支援として、子育て世帯に対する応援金や水道料金及び下水道使用料の軽減に係る経費を計上するものです。

補正額 8億262万円

●令和5年度弘前市一般会計補正予算(第8号)

自治体情報システムの標準化に係る経費などを計上するほか、子ども医療扶助費や子育て世代包括支援センター事業に係る経費などを追加するものです。

また、繰越明許費、債務負担行為及び地方債について所要の補正をするものです。

補正額 17億3739万1千円

●令和5年度弘前市一般会計補正予算(第9号)

新陳代謝・給与改定等に伴う報酬・給料・職員手当等の人件費を追加するほか、弘南鉄道に対し安全運行に必要な修繕費用などの一部を補助するための経費を計上するものです。

補正額 3億4275万4千円

●令和5年度弘前市一般会計補正予算(第10号)

物価高騰の影響を受けている市民生活への支援として、住民税均等割非課税世帯に対する国の物価高騰緊急支援給付金及び市の上乗せ給付金のほか、県産米等の購入に使用できる商品券の配布に係る経費を計上するものです。

また、物価高騰緊急支援給付金給付事業などに係る繰越明許費の補正をするものです。

補正額 28億7767万6千円

県産米の消費と市民生活への支援を大きな目的に、市民1人当たり3千円分の商品券(お米とくらし応援券)を配布するものです。商品券は1回の買物につき、2キログラム以上の県産米を購入する場合に使用でき、複数枚を一度に使用して、その他の食品や日用品の購入にも充てることができます。対象者へは1千円の商品券3枚が世帯ごとに送付され、市が公募する市内の店舗で、令和6年3月1日から令和6年12月31日まで使用できる予定となっています。



弘前市マスコットキャラクター たか丸くん

補正予算(第9号)から一部の事業をご紹介します

◇弘南鉄道安全輸送設備整備等特別対策事業費補助金 (事業費：3698万9千円)

安全運行に必要な修繕費用及びバス代行費用の一部を補助

- ・弘南線 1681万1千円
- ・大鰐線 2017万8千円

本事業については、予算決算常任委員会の審議過程において委員8名から理事者に対し質疑が行われ、建設常任委員会では定例会終了後の12月25日(月)、弘南鉄道における安全輸送対策について現地視察と討議を実施しました。(8ページに関連記事)



補正予算(第10号)から一部の事業をご紹介します

◇弘前お米とくらし応援券配布事業 (事業費：5億8580万円)

家計負担軽減のため県産米等の購入に使用できる商品券を配布

【対象者】令和6年1月1日に住民基本台帳に登録がある市民

【配布物】1人当たり3千円の商品券

審議過程では、事業概要や目的、利用方法や利用可能な店舗などに関し、議員から理事者に対する質疑が行われました。

議員発議 1件

意見書 ○西十和田トンネル(仮称)の早期建設を求める意見書

陳情 2件

※陳情書は議員に参考配付しました。

- 令和6年度私立幼稚園助成に関する陳情書
- 日本政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める意見書採択の陳情

弘前市議会ホームページ

<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/gikai/index.html>

インターネットによるライブ中継・録画中継、会議録検索システム、議会の日程など、市議会の情報はこちらでご覧いただけます。



一般質問

質問・答弁の要約を掲載いたします。

※敬称略。()は所属会派。登壇順に記載。文責は質問者にあります。

※QRコードを読み取ると、一般質問の録画映像を閲覧することができます。



木村 隆洋
(創和・公明)



弘南鉄道の現状と今後について

問 レール交換に至った経緯とその影響を問う。

答 今回の長期運転見合せに至った経緯としては、8月6日に発生した大鰐線の脱線事故の原因を見極めるためレールの摩耗状況の測定を行った結果、レールの摩耗度合いの基準を満たしていない箇所が複数見つかったため、安全確保を最優先に考え、弘南鉄道と東北運輸局におい

て協議し、9月25日に弘南線・大鰐線両線の運転見合せを判断したものの。今回の運転見合せは、安全対策を万全にするため、やむを得ず行った緊急措置ではあるが、利用者への影響の大きさから、大量輸送や定時運行という鉄道の強み、重要性を改めて感じたところである。

〈その他の質問項目〉

○当市のスポーツ環境について ○指定管理料の在り方について



齋藤 豪
(櫻鳴会)



りんご産業について

問 農業・観光連携りんご産業活性化事業の実施効果について、市の認識と今後の展望を問う。

答 農家の人手不足解消の一助に加え、農業の現状や地域の魅力を知ってもらう機会を創出すべく、全国から市内りんご園地へのボランティアを募集する「援農ボランティアツアー」を実施。ツアーに参加した約300名のボランティアの7

割が県外からで、市内観光を楽しんでいただくことを目的に宿泊費への一部助成を行ったこともあり、参加者の4分の3の方が宿泊し、農作業だけでなく弘前の街も堪能していただいた。今後、今年度の実施結果を踏まえ、日本一のりんご産地の魅力が伝わるような取組を検討する。

〈その他の質問項目〉

○子ども家庭センターの開設 ○りんご産業について (市にもたらす経済効果、鳥獣害対策)



野村 太郎
(無所属(東雲))



子供医療費について

問 子供医療費完全無料化開始から現時点までの運営状況を、今回の補正予算を上程するに至った背景を交えて問う。

答 令和5年9月時点で、対象となる子供の約99%に当たる1万8390名が受給資格を取得。資格認定の申請が行われていなかった278名に、10月に申請勧奨通知を送付した。給付状況について、本制度の拡充を行った令和5年4月分は前年比

69%増と当初予算で見込んだ増加率とおおむね同水準だったが、5月から9月分は前年比100%増となり、当初予算での対応が困難となったため補正予算を計上。子供医療費の増加要因としては、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症となり医療費の自己負担が生じるようになった影響と考える。今後も、次代を担う子供たちが安心して医療を受けられるよう、適切な制度運用を図る。



竹内 博之
(弘前さくら未来)



人口動態と今後について

問 直近の人口数値も踏まえ、市としての現状認識について問う。

答 国勢調査を基にした直近の推計人口は令和5年10月1日時点で16万1939人。子供医療費無償化、不妊治療費助成をはじめ、新たに子供を産み育てることができる環境づくりに特に力を入れ取り組む。**多様な人材が活躍する兼業、副業等の働き方について**

問 市職員の兼業等について考えを問う。

答 地域の人々との交流等を通じた、職員一人一人の成長や専門性向上が市役所全体の住民サービス向上や生産性向上にも寄与する。職員が地域社会の担い手として様々な分野で活躍できるよう、兼業事例の紹介や基準を示しつつ、引き続き職員の地域貢献活動を後押ししていく。

〈その他の質問項目〉

○今冬の除排雪について



樋川 篤子
(弘前さくら未来)



教員不足について

問 当市の現状と対応策を問う。

答 令和5年11月24日現在、教員未配置数が小学校32校中13校で16名、中学校は16校中5校で6名。当市教育委員会では、県教育委員会の教員確保の取組に協力し、広報ひろさきに教員募集の記事を掲載したほか、庁内グループウェアに臨時講師の募集及びペーパーティーチャー向けセミナーに係る記事を掲載した。

認知症対策について

問 当市の取組を問う。

答 国の推計人数を基にすると令和7年には、当市の認知症または疑いがある人の数は1万人を超え、その後も増加が見込まれる。認知症サポーター等がボランティアの支援チームを作り、認知症の人やその家族を心理面・生活面で支援する「チームオレンジ」の構築に取り組み、10月に当市第1号のチームが発足した。



志村 洋子
(創和・公明)



医療的ケア児への支援について

問 受入保育施設を増やすための対応は。

答 市では検討会を設置し、関係機関等との連携体制を構築するほか、受入れを行う保育所等に対し、看護師等の配置経費や研修受講費用を補助する事業を実施するなどの取組を今後進めていく。円滑な受入れや社会の理解が進むよう、より一層体制の整備を促進し、地域で医療的ケア児を見守る社会の実現を目指す。

行政のデジタル化について

問 当市の見解について伺う。

答 マイナンバーカードを活用し、住民票の写し等の証明書が、全国で受け取り可能になるコンビニ交付サービスを今年度中に開始するよう準備中である。来庁が必要な業務についても、利便性の向上や手続の簡素化が必要であり、証明書等手数料のキャッシュレス決済システム導入に向け調査・研究を進めている。



三浦 行
(日本共産党)



上下水道事業について

問 料金改定案について、経営審議会の内容と今後のスケジュールは。

答 市は、経営審議会に対し、近年の物価高などに十分配慮し、急激な負担増を最小限に抑えることに主眼を置き、令和7年度、令和10年度、令和13年度の3年おきに段階的に値上げをするという内容の料金改定案を諮問したところである。料金改定に向けた今後のスケジュールと

しては、令和7年4月検針分から予定している新料金開始に向け、令和6年1月22日から2月21日までの期間でパブリックコメントを募集し、3月の経営審議会を経て、5月に答申をいただき、9月の第3回市議会定例会で所要の条例改正案を提出したいと考えている。

〈その他の質問項目〉○地球温暖化対策の取組と再生可能エネルギー ○買物難の対策 ○市道茂森新寺町線



佐藤 哲
(櫻鳴会)



土地の規制について

問 7号線沿線の農業振興地域制度による開発規制で、市の発展が阻害されていると考えられるが、市の見解を求める。

答 石川から津賀野までの国道7号線沿線の農地はほとんどが農用地区域に指定され、国営かんがい排水事業の受益地となっている。このため、農用地を農業以外の用途に供するための変更である農振除外は、農業に関する公共投資で得られ

る効用の確保を図る観点から、原則できないとされる。岩木川左岸農業水利事業の受益地は令和7年度末で工事完了の翌年度の初日から8年間経過し、他の要件を満たせば通常の農振除外による手続も可能。農振除外等に関する相談には様々な選択肢を検討し、適切に対応していく。

〈その他の質問項目〉○市立小中学校給食費無料化の可能性 ○令和8年第80回国民スポーツ大会弘前市内開催競技会



須藤 江利加
(日本共産党)



障がい児について

問 当市の小中学校における、障がいを有する子供の状況について答えよ。

答 小中学校における特別な配慮を要する児童生徒は、増加傾向。特別支援学級の学級数は、令和3年度は小学校83学級、中学校35学級。令和4年度は小学校93学級、中学校40学級。令和5年度は小学校98学級、中学校42学級。児童生徒数は、令和3年度は小学校342人、中学校

112人。令和4年度は小学校414人、中学校137人。令和5年度は小学校483人、中学校157人。通級指導教室に通う児童生徒数は、令和3年度は小学校130人、中学校45人。令和4年度は小学校152人、中学校53人。令和5年度は小学校156人、中学校58人で、特別支援学級の学級数、児童生徒数と同様に増加傾向である。

〈その他の質問項目〉○りんご農業 ○介護保険 ○国民健康保険料



石山 敬
(創和・公明)



農業行政について

問 非農家出身の農業新規参入について。

答 今年度は、りんご以外の果樹や野菜を栽培している里親農家と、研修終了後に雇用による受入れに対応できる里親農家を10件追加し、計35件とすることで、研修受入体制を強化。市では、今後も関係機関と連携を図りながら、農業里親研修事業等の市の独自事業に加え、国の事業も積極的に活用し、地域の農業を担う

新たな担い手の育成・確保に取り組む。

介護現場におけるローカルルールについて

問 市はどのように認識をしているか。

答 手続き面に関するルールの存在は、介護現場におけるコストや負担の増加につながる原因の一つと認識。市では、法令や国の施行スケジュールに従い、負担軽減の実施に向け、書式や様式の簡素化等、ローカルルールの見直しに取り組む。



松橋 武史
(櫻鳴会)



水道管の老朽管更新について

問 全て更新するには相当の年数が必要だと思いが、事業費を倍にし、更新に要する期間を半分にするなどできないか。

答 年間10億円をかけて更新した場合、完了までに150年ほどかかる予測結果となっている。各年度の予算を増額し、期間を短縮した場合、工事期間集中による交通渋滞の発生や次の更新時期が集中するなど様々な課題が予測される。

学校給食について

問 規格外野菜使用の取組及び修了式前日まで学校給食の提供ができないか。

答 令和5年度は小学校12校に規格外のトマト約40キログラムを使用した夏野菜カレーを提供。来年度は規格外大根の使用を計画している。給食実施日数については、共働き家庭が多い現状も考慮し、保護者の負担軽減にもなることから、より増やすよう、市立小中学校へ通知する。



工藤 裕介
(弘前さくら未来)



食の安全や環境に優しい農業、オーガニック給食促進に向けた取組について

問 「オーガニックビレッジ宣言」について、市はどのように考えているか。

答 「オーガニックビレッジ」を宣言するためには、有機農業の拡大に向けた「有機農業実施計画」の検討と、試行的に有機農業の生産、流通、加工、消費の取組を行い、同計画がまとまった後に「オーガニックビレッジ宣言」をする流

れとなっている。市としては、まずは、農業者に対して、有機農業の取組の拡大が目標として掲げられている「みどりの食料システム戦略」の背景や具体的な内容を周知するとともに、国の支援策を活用したチャレンジを促し、さらには、流通・加工事業者や一般消費者に対しても情報発信を行うなど、地域全体で意識醸成を図っていくことで、機運を高めていきたい。



石岡 千鶴子
(無所属(りんごの会))



医療的ケア児に係る災害時の個別避難計画について

問 当市の医療的ケア児の人数及び個別避難計画作成の進捗状況について。

答 市内に26人。いずれも個別避難計画は未作成である。本年9月から市内で1例目となる取組を行っている。令和6年度以降は、取組の成果を全市へ展開する。**稚内市宗谷における津軽藩兵の殉難事件について**

問 北方警備のため1807年(文化4年)に宗谷に派遣された津軽藩兵について、引き上げ命令が下る文化7年までの間の出兵人数は延べ4,794人、そのうち陣没者は287人。当市は現在斜里町と友好都市の盟約を締結しているが、その経緯は。

答 斜里町との友好都市交流は、殉難の史実だけでなく斜里町の皆様が津軽藩士を慰霊してくださり、それに全市を挙げて感謝の念を持ったことで実現したもの。



成田 大介
(弘前さくら未来)



市立中学校の制服について

問 制服の選択制について伺う。

答 女子の制服用スラックスは、令和3年度から制服購入段階で選択可能で、各学校が新入生説明会等で周知している。制服の選択は機能性についても生徒の意見を聞き、個性が尊重され全生徒が満足して着用できることが望ましいと考える。**市内体育施設等について**

問 所管数及び大会等の開催予定を伺う。

答 市運営のものは、屋内外合わせて27施設。令和7年度には全日本総合女子ソフトボール選手権大会等が開催予定。令和8年度は国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の青森県開催が決定し、当市でも様々な競技が行われる予定。誰もが健康で生き生きとスポーツ活動ができる環境づくりに一層努める。
(その他の質問項目) ○インクルーシブ教育 ○教員の資質向上

令和5年第4回定例会日程 (26日間) ○傍聴者の数：31人

11月24日(金) 本会議	開会、会期の決定、提案理由の説明	12月11日(月) 常任委員会	経済文教、建設、総務、厚生
11月25日(土)~12月4日(月)	議案熟考	12月12日(火) 常任委員会	予算決算
12月5日(火)~12月7日(木)		12月13日(水)~12月18日(月)	議事整理
本会議	一般質問	12月19日(火) 本会議	各委員長報告、質疑、討論、表決、閉会
12月8日(金) 本会議	一般質問、議案付託		

令和5年は延べ**236**人が傍聴しました。日程をご確認の上、お気軽にお越しください。

弘前市マスコットキャラクター たか丸くんSDGsバージョン





工藤 賢生
(櫻 鳴 会)



健康医療産業の誘致及び創出育成について

問 昨年度と今年度の誘致活動等や、創出育成の取組状況等を伺う。

答 昨年度は首都圏等の健康医療関連企業を複数訪問したほか、東京・名古屋で開催された県主催のあおもり産業立地フェアで、立地を検討中の企業等に市の支援制度等をプレゼンテーションし、市への立地を強力に働きかけるなどの誘致

活動を進めた。今年度は9月に市として初めて東京を会場に企業立地セミナーを開催。出席企業と情報交換する等、昨年度以上に積極的に誘致活動を進めている。創出育成については、市内企業及び誘致企業が新たに取り組む健康医療関連事業の研究開発や事業化、販路拡大等、創出から育成までを一貫して支援する補助金を今年度新たに創設し、市の健康医療関連産業の拡大と産業振興を図っている。



千葉 浩規
(日本共産党)



市営住宅について

問 市営住宅の保証人制度に代わる「家賃債務保証制度」の調査の進捗状況と、この制度を導入した場合、現在、連帯保証人が免除となっている方への対応について答えよ。

答 今年度、他の自治体の制度実施状況等を調査し、当市での導入について検討を行った結果、この制度を利用することによって、連帯保証人の確保が困難な方

の負担軽減となり、市営住宅への入居がしやすくなると思われることから、現在、令和6年度からの開始を目指し事務作業を進めている。また、現に連帯保証人が免除となっている方は、制度導入後においても、加入は任意となっており、個別にチラシを配布するなどの方法により周知を図りたいと考えている。

〈その他の質問項目〉○学校給食 ○動物愛護(猫) ○マイナンバーカード



畑山 聡
(創和・公明)



お出かけシニアバスについて

問 今後について伺う。

答 利便性を高め、高齢者の外出を後押しすることにより、公共交通の利用促進や健康寿命の延伸等、市民が快適に暮らせるまちづくりに取り組む。

弘前さくらまつりについて

問 ぼんぼりの復活については、市がリーダーシップをとりながら前向きに検討し、市の観光振興という一大使命を果たして

いくべきと考えるが、市の所見を伺う。

答 今後のぼんぼり設置は、様々頂いている意見を参考にしながら、必要に応じて主催4団体が協議したい。

森林環境譲与税について

問 今後の展開について伺う。

答 この貴重な財源を活用し森林の整備を行い、地球温暖化防止等、森林が有する多面的な機能を健全に保つことによって持続可能なまちづくりを進めていく。



外崎 勝康
(創和・公明)



教育行政について

問 児童生徒の不登校について。

答 学校外の専門的な相談・指導の機会等についても情報提供していく。文部科学省は、児童生徒が社会的自立を目指す必要があることや不登校の時期が休養等の意味を持つことなども示している。また、不登校支援を行う団体作成の「学校休んだほうがいいよチェックリスト」は保護者が判断する一助になっている。

問 インターネット利用について。

答 正しい知識を身につけて実践していくことができるよう、取組を推進する。

こども家庭センター設置について

問 市の所見を伺う。

答 こども家庭センターの設置及び産後ケア事業の充実により、必要な支援が切れ目なく提供され、安心して妊娠・出産・子育てができる環境を整えていく。

〈その他の質問項目〉○物価高騰対策

ーは採決に加わらなかったもの。
議長(尾崎寿一)は採決に加わっていません。

木村 隆洋	千葉 浩規	野村 太郎	外崎 勝康	尾崎 寿一	蒔苗 博英	松橋 武史	石岡 千鶴子	三上 秋雄	佐藤 哲	工藤 光志	清野 一榮	田中 元
○	●	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
○	●	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
○	●	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○

令和5年第4回定例会審議結果
※議会での慎重審議により、可決となりました。

市長提出議案：79件
予算関係：15件、条例関係：16件、その他：48件
議員発議：1件

定例会一般質問等のラジオ放送

本会議の傍聴やインターネットでの中継視聴ができない方のため、ラジオ放送もしています。FMアップルウェーブ(周波数78.8メガヘルツ)で、一般質問等の様子を当日午後8時から放送します。※緊急時、災害時には変更される場合もあり。

第10回弘前子ども議会

12月26日(火)、議場において第10回弘前子ども議会が開催され、小学校から9校19名の児童、中学校から8校18名の生徒が参加しました。児童生徒からは市への質問や意見が出され、市から答弁された内容を熱心に聞いていました。



委員会行政視察

議会運営委員会

10月10日(火)～12日(木)

- ①愛知県尾張旭市
 - 議会改革の取組について
- ②三重県四日市市
 - 議会改革について

建設常任委員会

10月16日(月)～18日(水)

- ①岡山県岡山市
 - ハレまち通り歩いて楽しい道路空間創出事業について
- ②福岡県大野城市
 - 大野城市中心市街地におけるまちづくりについて

総務常任委員会

10月18日(水)～20日(金)

- ①大分県臼杵市
 - 移住・定住促進に係る各種取組について
- ②宮崎県宮崎市
 - 将来世代に重荷を背負わせない「公共施設経営」について

厚生常任委員会

10月18日(水)～20日(金)

- ①広島県江田島市
 - 協働のまちづくりについて
- ②愛媛県今治市
 - 今治版ネウボラの取組について



建設常任委員会による弘前鉄道現地視察の様子

会派一般行政視察

櫻鳴会(佐藤 哲)

11月21日(火)～23日(木)

- ①新潟県新潟市
 - 健康寿命延伸の取組について
 - 新潟国家戦略特区について
- ②新潟県佐渡市
 - 世界文化遺産登録を見据えた観光戦略について



佐渡市にて

創和・公明

12月21日(木)～22日(金)

- ①北海道札幌市
 - SDGs未来都市計画について
 - 除排雪の取組について



札幌市にて

委員会等活動報告

ひろさき市議会だより編集特別委員会

10月23日(月) 市役所

- ①掲載内容について

12月19日(火) 市役所

- ①掲載内容について
- ②編集日程について

建設常任委員会

弘前商工会議所建設部会員との意見交換会

10月25日(水) 弘前パークホテル

- ①弘前商工会議所建設部会からの話題提供について
- ②建設常任委員会からの質問等について

地域交通に関する調査

12月25日(月) 弘南鉄道大鰐線 弘高下駅、市役所

- 弘南鉄道における安全輸送対策について(現地視察及び視察結果等に係る討議)

表紙の写真大募集!!

- ◎テーマ 弘前市内で撮影された写真(風景・まつり・イベントなど)
- ◎規格 デジタル写真データ(JPEG形式、サイズ1MB以上、横撮りのみ)
- ◎応募資格 弘前市に在住・在勤・在学の方
- ◎応募方法 写真のタイトル(10文字以内)・撮影場所・撮影日・住所・氏名・電話番号を明記の上、メール、郵送、持参。※メールの場合は、件名に「だより表紙写真」と入力してください。
- ◎締め切り 締め切りは令和6年7月10日(水)です。また、応募写真が必ずしも採用されるとは限りません。
- ◎掲載時期 令和6年9月発行予定の第79号

QRコードを読み取るとメールの作成画面が開き、簡単に応募することができます!



【詳しくはホームページ、または議会事務局へ】

「ひろさき市議会だより」について、ご意見・ご感想などがありましたら、今後の参考にさせていただきますのでTEL・ファクス・メールなどお気軽にご連絡ください。

議会を傍聴しませんか

議会(本会議、委員会など)は原則、どなたでも傍聴でき、市役所前川本館4階で受付しております。本会議及び予算決算常任委員会は、インターネット中継でご覧になれるほか、市役所前川新館1階市民ギャラリーにモニターテレビを設置し、中継放送もしております。

次回定例会日程(予定)

- (2月9日(金)) 議会運営委員会 会期日程等の協議
- 2月16日(金) 開会日(本会議) 開会、会期の決定、提案理由の説明
- 3月14日(木) 閉会日(本会議) 各委員長の報告、質疑討論、表決、閉会

※日程については、議会開会前にホームページ等でご確認ください。